

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公表番号】特表 2003-510967(P2003-510967A)
 【公表日】平成 15 年 3 月 18 日 (2003.3.18)
 【出願番号】特願 2001-527510(P2001-527510)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 0 B

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の通信ネットワーク (N 1) に装置 (M T 5) を関連付け、上記第 1 の通信ネットワーク内の通信は第 1 のチャンネルで行われる方法であって、

上記装置によって上記第 1 の伝送チャンネルを検出する段階と、

上記第 1 のネットワーク及び第 2 のネットワーク (N 2) からの信号間の上記チャンネル上での衝突を判定する段階と、

衝突がある場合、上記第 1 のネットワークにチャンネル変更要求を送信する段階とを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】 衝突が検出されない場合、上記第 1 のネットワークの基地局に上記装置を関連付ける段階を更に含むことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 上記第 1 のネットワークが、衝突が検出されないチャンネルを自動追尾するまで請求項 1 記載の段階を繰り返す段階を更に含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】 上記チャンネル変更要求は、上記第 1 のネットワークの識別子を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 5】 上記チャンネル変更要求は、上記装置の識別子を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 6】 上記要求は、上記第 1 のネットワークに対し提案される伝送チャンネルを示すパラメータを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 7】 上記要求は、上記第 1 のネットワークに既に送信された上記要求の回数を示すパラメータを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 8】 上記装置は、関連付けの前に、上記第 1 のネットワークの上記セントラルコントローラの上記識別子を知っており、

上記第 1 のネットワークに送信される上記フレームは上記セントラルコントローラを識別するフィールドを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 9】 上記衝突の判定は、上記第 1 のネットワークに送信される少なくとも

幾つかのフレーム又はフレームの一部が復号不可である事象を検出することによって行われることを特徴とする請求項 8 記載の方法。